



2022年コレクション展Ⅱ特集1 「リ・フレッシューズー新収蔵品紹介展」 関連
こどものイベント

「けんびの新しい仲間を見てみよう！」

- 開催日時：2022年8月27日(土)
- 参加者：こども1名、大人2名
- 対象：小学生～高校生と保護者
- 参加費：無料(保護者の方は観覧料500円)
- 場所：常設展示室、レクチャールーム

■概要
昨年度美術館に新たに仲間入りした作品について担当学芸員の解説を聞いた後、ワークシートを用いて鑑賞しました。お気に入りの作品を見つけたり、気づいたことや感じたことなどを発表したりしました。

■1 オリエンテーションと尾崎学芸員によるレクチャー
展覧会担当の尾崎学芸員が美術館は作品を集める役割があって、昨年けんび(兵庫県立美術館)にはさまざまな特徴の仲間(作品)がやってきたんだとお話しました。
また、今回の展覧会で展示されている作品を例に、作品の特徴を見つける2つのポイントを紹介しました。ポイント①「いろ」「かたち」「そざい」に注目してみると、ポイント②「何をしているところなのかな?」「想像して見ること」、2つのポイントで作品を見ると面白いとお話しました。



◇こどもの感想(※原文をそのまま紹介)
・いろいろなかたちやいろがしれてうれしかった。

◇保護者の感想
・子供向けに分かり易く説明して頂けて良かったです。

■2 鑑賞
ミュージアムティーチャーがワークシートや鑑賞マナーの説明をしてから展示室に出発！
イベントでは常設展示室のうち特集1の展示室1～3の作品を見てもらいました。さまざまな大きさや形、素材などでできた絵や彫刻、インスタレーション作品の中からどの作品をお気に入りに選んでくれるでしょうか？
お気に入りの作品をタブレットで写真に撮ったり、1つの作品の前に立ち、家族みんなでじっくりと時間をかけて鑑賞したりしていました。



■3 ふりかえり①
レクチャールームに戻ってきてからふりかえりをしました。まずは、ワークシートでとりあげた作品について聞いていきました。
赤い背景の上に、繰り返し金色の線が描かれた《仙丈》という大きな絵画作品について、「ダイヤモンドみたい」「赤と茶、黒色でぬられている」「ジグザグしている」など、形や色について気づいたことを発表してくれました。
《仙丈》は「山の名前だけど、どんな山なのかな?」聞くと、「赤いから紅葉しているのかな」という意見もあれば、「山っぽくない」という答えもあり、同じ作品でも見え方が違うことに気づきました。



■4 ふりかえり②
その後、尾崎学芸員がワークシートでとりあげた作品について解説をしました。ベルベットという布に絵をかいた作品については、この素材を使うことで動物の毛のような表現ができるとお話しました。(ベルベットについて、電車のシートを例にあげて説明しました。)
最後に、お気に入りの作品を発表してもらいました。気に入った理由やかいてくれたスケッチを紹介してくれました。選んでくれた作品は今までけんびにはなかったポップな陶芸作品だと尾崎学芸員が解説しました。とても愛らしいスケッチに空気が和みました。



□まとめ
今回美術館に新しくやってきた仲間たち(=新収蔵の作品群)は、今までの県美のコレクションにはなかった性格を持つ作品ばかりです。それぞれの特徴や素材について観察し、まるで新しいクラスの友達と触れ合うように、じっくり作品と対話してくれました。今後も県美のフレッシュな仲間たちを紹介するので、また会いに来てくれると嬉しいです。(尾崎学芸員)